

## 京都大学防災研究所 平成 28 年度 共同研究報告

平成 8 年度より、全国共同利用研究所として共同研究を実施している。平成 22 年度からは「自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」として新たな枠組みで共同研究課題の募集を行った。応募があった研究課題は、共同利用・共同研究拠点委員会で公正な審査のうえ採択が決定される。平成 28 年度の各種目についての、応募件数、採択件数および共同研究費は次の表のとおりである。

	応募件数	採択数	共同研究費 合計 (円)
一般共同研究 (平成 28-29 年度)	40	10	13,984,000
国際共同研究 (平成 28-29 年度)	31	3	5,580,000
一般研究集会	16	10	6,109,000
長期滞在型共同研究	11	3	4,154,000
短期滞在型共同研究	6	4	937,000
地域防災実践型共同研究 (一般・特定 X 平成 28-29 年度)	7	4	8,210,000
萌芽的共同研究	14	5	1,260,000
重点推進型共同研究	2	2	3,150,000
拠点研究 (一般推進)	11	5	15,784,000
拠点研究 (特別推進)	2	1	7,000,000
特定研究集会	5	4	2,625,000
特別緊急共同研究	37	7	11,184,000

以下の報告は、平成 28 年度に実施された一般共同研究 10 件、国際共同研究 3 件、一般研究集会 10 件、長期滞在型共同研究 3 件、短期滞在型共同研究 4 件、地域防災実践型共同研究 4 件、萌芽的共同研究 5 件、重点推進型共同研究 2 件、拠点研究 6 件、特定研究集会 4 件、特別緊急共同研究 7 件の報告である。一般共同研究及び萌芽的共同研究の参加者は 77 名、国際共同研究の参加者は 24 名、一般研究集会参加者は 621 名、長期・短期滞在型共同研究の参加者は 32 名、地域防災実践型共同研究の参加者は 45 名、重点推進型共同研究の参加者は 325 名、拠点研究の参加者は 130 名、特定研究集会の参加者は 740 名、特別緊急共同研究の参加者は 62 名である。また、これらの共同研究等の採択課題名は、防災研究所ニュースレターに掲載された。

本研究所では、施設・設備のいくつかを所外研究者の利用に供している。それらの利用状況を本報告書の終わりに掲載した。